

生物多様性の保全

私たちの企業活動は、土壌、大気、水、動植物などからなる自然資本から提供される様々な生態系サービスに依存しています。一方、生物多様性は、世界各地で様々な危機に瀕しており、SDGs(目標14、15)や、CDB-COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)で採択された愛知目標では、事業者に対し、生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用を求めています。

クボタグループは「生物多様性の保全」をマテリアリティの一つとして捉え、企業活動や製品・サービスの提供、社会貢献活動において、自然資本に与える影響をふまえ、生物多様性の保全や自然環境の保護に配慮するようつとめています。

生物多様性保全の考え方

クボタグループは、環境保全の基本5項目の一つとして「生物多様性の保全」を定めています。2009年12月に「クボタグループ環境基本行動指針」へ生物多様性に配慮した企業活動を織り込みました。また、2010年に環境大臣へ提出した「エコ・ファーストの約束」の中でも、生物多様性の保全のための活動を推進することを掲げています。

生物多様性保全の考え方

クボタグループは、「生物多様性の保全」を環境保全の基本5項目の一つとし、企業活動や製品・サービスの提供、社会貢献活動において、自然資本に与える影響をふまえ、生物多様性の保全や自然環境の保護に配慮するようつとめます。

【主な取り組み内容】

1. 企業活動

- ① 設計開発段階では、製品環境アセスメントを実施し、自然資本に与える影響評価を実施します。
- ② 調達段階では、サプライヤーへ「グリーン調達ガイドライン」を提示し、生物多様性への配慮を要請します。
- ③ 生産・物流段階では、事業所の操業や物資の輸送にともなう環境負荷低減や環境リスク管理につとめます。
- ④ 環境マネジメントの一環として、従業員への環境教育や意識啓発を実施し、生物多様性の価値と保全活動の重要性に対する認識を深めます。
- ⑤ 環境コミュニケーションの一環として、生物多様性保全に関する取り組みなどの情報発信につとめます。

2. 製品・サービスの提供

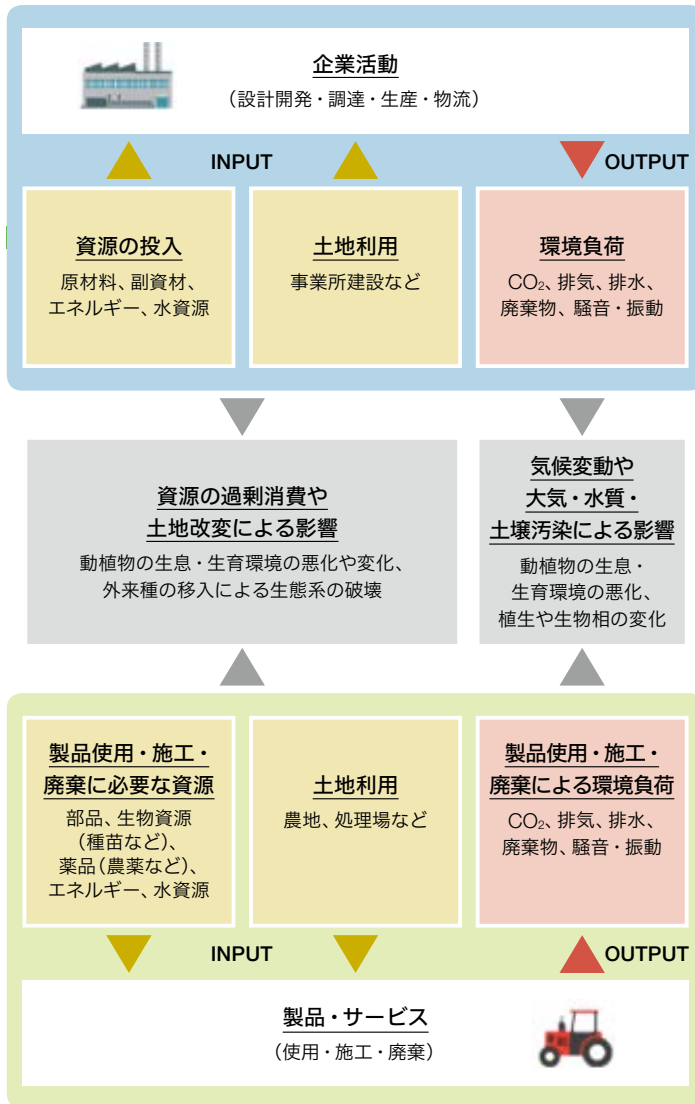
- ① 低燃費や排出ガスのクリーン化など、環境負荷の少ない製品・サービスの提供により、生物多様性への影響低減につとめます。
- ② 汚水処理や廃棄物処理などの水環境ソリューションの提供により、動植物の生息・生育環境の改善に貢献します。
- ③ スマート農業や環境に配慮した都市基盤整備などに寄与する製品・サービスの提供により、生態系サービスの持続可能な利用に貢献します。

3. 社会貢献活動

- ① 社会貢献活動「クボタeプロジェクト」の耕作放棄地再生支援活動や里山・森林の保全活動などを通して、自然環境の保護を推進します。
- ② 事業所構内や周辺の美化・緑化や地域の動植物保護を推進します。

生物多様性との関わり

クボタグループの生物多様性との関わり



企業活動にともなう環境負荷の管理・削減活動

クボタグループでの活動による環境負荷を削減し、生物多様性への影響に配慮する。

- ・グリーン調達
- ・土地利用の際の環境影響評価
- ・気候変動への対応（省エネ など）
- ・循環型社会の形成（省資源化、廃棄物の3R など）
- ・水資源の保全（水資源の3R など）
- ・化学物質の管理（有害懸念物質の使用量削減、VOC排出量の削減 など）
- ・環境マネジメント（大気・水質・土壌汚染の防止、従業員への環境教育 など）

社会貢献活動による貢献

NPO法人などと連携し、自然環境保護につとめる。

- ・クボタ eプロジェクト（耕作放棄地再生支援、クボタの森、小学生の自然体験 など）
- ・クボタ eデー（環境美化ボランティア）
- ・事業所内外の緑化
- ・地域の動植物の保護

製品・サービスによる影響の低減や貢献

製品・サービスの使用・施工・廃棄による影響を低減し、生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用に貢献する。

【影響の低減】

- ・製品環境アセスメント
- ・環境配慮製品の開発（省エネ化、省資源化、大気・水質・土壌汚染の防止 など）

【貢献】

- ・汚水処理や廃棄物処理などの水環境ソリューションの提供
- ・スマート農業や環境に配慮した都市基盤整備などに寄与する製品・サービスの提供

事業所での取り組み

■ 海岸の清掃活動に参加



2019年6月、Kubota Farm Machinery Europe S.A.S(フランス)は、ダンケルク海岸の清掃活動を実施しました。活動には83人の従業員が参加し、約30kgのゴミを回収しました。

■ マングローブの植樹



SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.(本社工場)(タイ)は、年に1回、マングローブの植樹活動を実施しています。2019年に実施したラヨン県での活動には、約50人の従業員が参加し、約150本のマングローブを植樹しました。

■ 稚魚の放流



SIAM KUBOTA Metal Technology Co., Ltd.(タイ)は、年に1回、稚魚の放流活動を実施しています。2019年は工場近隣の河川で活動を実施し、従業員10人がコミュニティと協力して約3,000匹の稚魚を放流しました。